

自治会総合情報誌

NASCA

Vol.37 2013年度
前期自治委員会総会
報告号



- ・自治委員会総会報告
新中央執行委員会役員紹介
決議について
感想文回答
- ・要望書回答
- ・自治会室について

大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会

はじめに

中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会(学生自治会)は学生とともによりよい学生生活を実現することを目的として活動しています。そのためには、学生自治会の行う活動が本当に学生のためになっているのかを学生のみなさんに判断してもらう必要があります。そのための場として、自治委員会総会があります。そこで学生のみなさんに学生自治会の活動報告と活動方針を示し、その方針や活動が本当に学生の実情に即したものかを判断してもらいます。この冊子では、2013年度前期自治委員会総会で行われたことを紹介します。

目次

*新中央執行委員会役員紹介	P.2
*決議について	
要望書に関する活動	P.3
大学運営に関する活動	P.4
情報収集・情報宣伝に関する活動	P.5
学生団体連絡会議	P.6
立て看板管理局	P.7
りんくうに関する活動・ステージ管理委員会	
大型PA再購入実行委員会	P.8
決算および予算について	P.9~12
*要望書回答	P.13~14
*感想文回答	P.15~18

2013年度 新中央執行委員会役員紹介

中央執行委員会では、自治委員会総会での決議に基づき、具体的な活動を決定します。今回の役員は委員長1名、副委員長1名、書記長1名、執行委員3名により構成されており、先日行われました2013年度前期自治委員会総会の選挙で信任されました。

委員長	溝口 祐樹	(工学域	物質化学系学類	2 回生)
副委員長	酒井 誠司	(工学域	電気電子系学類	2 回生)
書記長	滝本 大晴	(工学域	物質化学系学類	2 回生)
執行委員	近藤 まなみ	(工学域	電気電子系学類	1 回生)
	富山 智大	(工学域	物質化学系学類	1 回生)
	東 賢治	(工学域	機械系学類	1 回生)

2013年度 会計監査委員紹介

2013年度前期自治委員会総会にて、今年度の会計監査委員が選出されました。なお会計監査委員の職務については、「決算および予算について」のページに掲載していますのでそちらをご覧ください。

現代システム科学域	マネジメント学類	2 回生	内田麻友
工学域	機械系学類	2 回生	河野良亮
工学域	電気電子系学類	2 回生	酒井誠司



要望書案について



何のために要望書を!?

学生のみなさんがよりよい学生生活を送るためには、みなさんの要望を実現させる必要があると学生自治会は考えています。しかし、大学に対して個人で訴えかける形では、要望の切実さが伝わりにくいなどの理由から、実現が難しくなってしまいます。

そこで、学生の総意として大学に訴えかけることで、学生自治会は要望の実現を目指します!

個人で訴えかけても
実現するのが難しい



学生の総意として
大学に訴えかけることで
実現に近づく!

要望アンケートの実施

要望を実現するためには、まず、学生自治会がみなさんの大学に対する要望内容について十分把握する必要があります。そこで、中百舌鳥キャンパスおよびりんくうキャンパスの学生を対象に要望アンケートを実施して要望を収集します。また、アンケートを実施する際には、より多くの学生が要望を寄せやすくなるようにアンケートの内容や実施方法などの検討を行います。

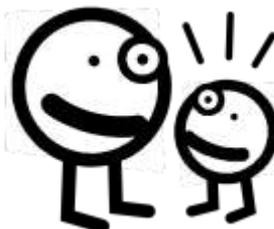
要望書案の作成

学生自治会では、要望アンケートの結果をもとに、要望書案を作成します。また、要望内容の裏付けとなるような調査資料などの補足資料を掲載した要望書資料も合わせて作成します。

なお、要望書案については、その内容が本当にみなさんの実情に即したものであるのかを判断してもらうため、2013年度後期自治委員会総会にて提議します。

今までに実現された要望例

- ・授業料減免制度の成績基準の緩和
- ・各講義室、図書館のクーラーの設置
- ・ウォータークーラーの設置 など



**みなさんの要望を実現するために
アンケートへの協力をお願いします!**

大学運営に関する活動



学域・学類制の導入に関して、学生への不都合の確認をします。

現在、学域・学類制の導入に伴い、カリキュラムを中心にさまざまな問題が生じています。そこで、学域・学類制の導入に伴い発生している問題に関して大学へ情報公開を求める、改善を求めるなどの活動を行っていきます。

また、今後、学域・学類生の進級、課程配属、研究室配属などに伴い、新たに問題が生じる可能性があります。そのため、引き続き学域・学類制の導入に伴う学生への不都合の有無を確認し、問題が生じている場合は、同様の活動を行っていきます。

第2期中期目標・第2期中期計画・平成25年度計画に対する活動を行います。

第2期中期目標を中心とする大学の運営計画には、大学独自の奨学金や教育設備負担金の導入といった学生に対して影響の大きな項目が多く含まれています。そのため、これらの運営計画に基づく大学運営に注視し、学生に不都合が生じないように活動を行います。

その中で、教育設備負担金の導入について、現在はその導入が見送られています。しかし、第2期中期計画に記載されていることから、今後、導入される可能性があります。また、学生からは「教育設備負担金の用途が不明確であるため判断しかねる」という意見が多く寄せられています。そこで学生自治会では、大学に学生の意見を届けるとともに、大学に情報公開を求めるなどの活動を行っていきます。

「府大と市大の統合」の動きを注視し、適宜活動を行います。

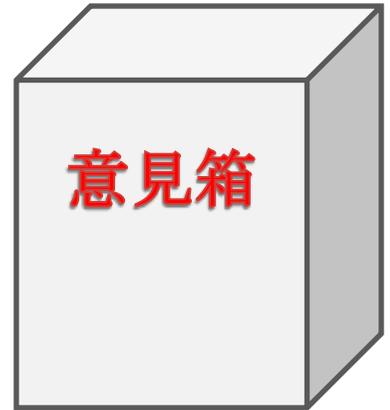
現在、大阪府と大阪市の間では、府大と市大の統合に関する議論が進められています。また、府大と市大の両大学間でも大学統合を円滑に進めることができるように、両大学の学長、副学長、理事を中心に「新大学推進会議」が設置されました。新大学推進会議では、平成28年度予定の大学統合に向けて、8月までに新大学案を作成すると発表しています。

このような大規模な大学改革の実施に伴い、学生に不都合が生じることはあつてはなりません。そこで学生自治会では、6月3日から実施した『府大と市大の統合に関してのアンケート』の結果をまとめ大学に提出し、学生の意見を大学に届けます。また、今後も引き続きインターネットなどを活用して情報の収集を行います。その結果、得られた情報のうち学生に関係する情報については学生に発信していきます。

情報収集・情報宣伝活動

● 学生の意見や大学に関する情報の収集

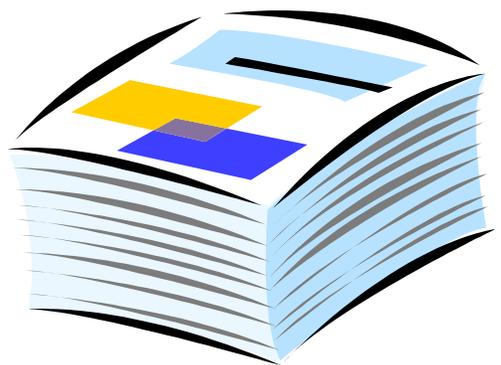
学生自治会は、中百舌鳥キャンパス・りんくうキャンパスの現状や学生の実情、学生の大学に対する意見などを十分に把握した上で、活動を行っていく必要があります。そこで学生自治会では、引き続き意見箱(詳しい場所は裏表紙に記載)やアンケート、Eメール(ziren@cd6.so-net.ne.jp)、ウェブサイト(<http://zichikai.ehoh.net/>)の掲示板などで学生の意見や要望の収集を行います。寄せられた意見や要望は自治会活動の参考にすると同時に、必要に応じて大学をはじめとした関係各所に伝えます。



● 学生生活に関する情報の宣伝

学生自治会は、学生の意見を積極的に活動へ取り入れることで学生自治会の活動がより学生の実情に即したものになると考えます。そのためには、学生に対して大学や学生自治会に関する情報を知ってもらい、より多くの学生が意見を発していくことのできる環境を整備する必要があると学生自治会は考えます。そこで学生自治会では、『NASCA』やウェブサイト、ビラ、プラカード、立て看板、ポスター、学館下装飾などの情報宣伝手段を活用して、大学や学生自治会に関する情報を発信します。

意見箱に寄せられた意見に対する学生自治会からの回答については、意見箱周辺に掲示するとともに、『NASCA』とウェブサイトにも合わせて掲載します。





学生団体連絡会議

?

学生団体連絡会議(学団連)

学生自治会を含む10の学生団体間の情報交換や調整をし、ひとつの学生団体だけでは解決が難しい問題に取り組むための会議です。月に一度開かれます。

!

これからの活動

1.引き続き学団連を開き、情報交換・調整を行います。

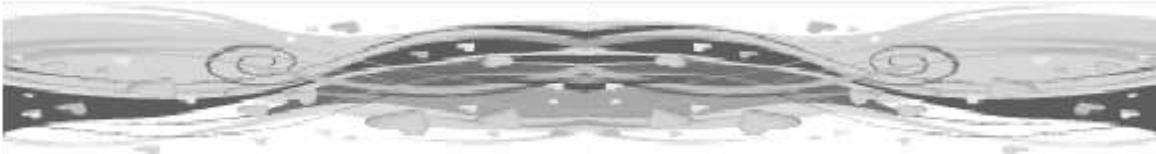
引き続き月に一度学団連を開き、学生団体間での情報交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に進められるように、学生団体間での調整を行なっていきます。また、単独の学生団体だけでは解決することが難しい問題が起きた場合、各団体で協力し、問題を解決できるよう努めます。

2.第40回七夕祭実行委員会に協力します。

4月の学団連にて第40回七夕祭実行委員会が発足しました。七夕祭実行委員会は、6月28日に行われる予定の七夕祭本祭典に向けて活動を行っています。学生自治会は、七夕祭実行委員会の活動が学生にとって有益なものであると考えました。そこで、学生自治会では引き続き七夕祭実行委員会の活動場所として学生自治会室を提供する、実行委員会として自治会役員が参加するなどの協力を行います。

3.引き続き学生センターとの話し合いを行います。

学団連の構成団体として大学の情報や実状を把握し、また大学との意見交換を行うことで大学と学生が相互理解を深めることができるように、月に一度、学生センターとの話し合いを行います。また、学生センターとの話し合いで学生にとって有益な情報が得られた場合、『NASCA』などの情報宣伝手段を活用して学生に発信していきます。



立て看板管理局

1. 立て看板の管理・運用について

立て看板は学生が利用できる有効な情報宣伝手段です。しかし、立て看板の利用には、重大な事故が発生する危険性を伴います。そのため、立て看板管理局では強風時には立て看板を倒しておくなどして、立て看板の管理を行います。

また、立て看板を安全に運用できる環境整備も行っていきます。その一環として、立て看板管理局では『NASCA』を活用して学生に立て看板の危険性についての情報を発信していきます。

2. 立て看板の管理団体に対して講習会を実施について

立て看板をより安全に管理するためには、立て看板管理局だけでなく、立て看板の管理団体もその取り扱い方を熟知しておく必要があります。そこで、立て看板管理局は当局を含む立て看板の管理団体に対し、その取り扱い方に関する講習会を行います。講習会の実施時期については各団体間で調整を行って決定します。

3. 老朽化の進んだ立て看板の修理について

現在、立て看板には著しく老朽化の進んでいるものがあります。そのような立て看板を使用し続けた場合、事故につながる可能性があります。そこで、立て看板管理局は老朽化の著しく進んだものを貸出の停止および修理を行います。

4. 白鷺祭祭典開催期間の管理体制強化について

第65回白鷺祭本祭典中には、催し物の宣伝のために多くの立て看板が立てられるうえ、立て看板の危険性を知らない多くの方が中百舌鳥キャンパスを訪れることが予想されます。

そこで、立て看板管理局は白鷺祭本祭典中に立て看板の見回り回数を増やすとともに、立て看板付近で活動を行っている人に対し、注意喚起を行って立て看板の管理体制を強化します。

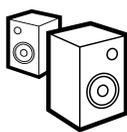


【りんくうキャンパスに関する活動】



○りんくうキャンパスにおける情報収集・情報宣伝を行います○

中百舌鳥キャンパスとりんくうキャンパスでは、施設の利用可能時間の違いなど学生を取り巻く環境が大きく異なります。そのため、中百舌鳥キャンパスとりんくうキャンパスでは学生にとって本当に必要な活動が異なってくると学生自治会は考えます。そこで学生自治会では、りんくうキャンパスの学生が置かれている実情の把握に努めるとともに、りんくうキャンパスにおいても学生生活に関わる情報や学生自治会の活動に関する情報を発信していきます。



【大型PA再購入実行委員会】



○定例会を開き、話し合いを行います○

大型PA再購入実行委員会は、大型音響機器(大型PA)の再購入を円滑に行い、学生の課外活動を充実させて大学内の文化的発展を目的に活動しています。大型PA再購入実行委員会では、定例会を開き、大型PAの現状確認や構成団体間の情報共有を行い、次回の第4期再購入を円滑に行えるように調整をしていきます。

また、第4期再購入までに機器が故障した際には、大型PA再購入実行委員会の積立金から修理費を支出する、または後援会に援助を求めるなど柔軟かつ早急に対応します。



【ステージ管理委員会】



○ステージをより適切に運用するため話し合いや日常の管理業務を行います○

ステージ管理委員会は学内のステージを所有しステージの購入や運用・管理を行い、大学内の文化的発展に努めることを目的に活動しています。ステージ管理委員会はステージの安全な運用・管理を行っていくため、定例会を行い、ステージの現状確認やステージの運用・管理・再購入に関する話し合いを行います。

また、ステージを安全に運用するために、管理局が中心となり、ステージの運用・管理に加えステージの利用団体に対しての注意喚起などの管理業務を行います。

2012年度決算および2013年度予算



2013年度前期自治委員会総会にて、会計に関して、決算報告、予算案提議、会計監査報告そして、決算と予算案に関する質疑応答が行われました。

会計監査って？



会計監査とは学生自治会の財政が公正に行われているかを一定の独立性を有する機関が監査、そして承認することです。この業務を執り行う会計監査委員の任期は1年で、毎年前期自治委員会総会にて選出されます。今年度も3名の会計監査委員が選出されました。

2012年度決算

以下では学生自治会の2012年度決算について、会計項目とその説明を掲載しています。なお、不正確な情報が流布されるのを防ぐため、具体的な金額については伏せさせていただきます。



収入の部

自治会費	みなさんからお預かりした学生自治会の加盟費のことです。
利息収入	自治会費を銀行に預金していることで発生する利息です。
印刷収入	学生自治会室にあるコピー機や印刷機の使用の際、支払っていただいた料金です。
印刷機購入費	2011年度までの印刷機購入費積立金より出される2012年度の印刷機購入にあたる料金のことです。この積立金については、支出の部において説明させていただきます。
繰越金 特別繰越金	2011年度からの繰越金です。また、特別繰越金は各学部自治会の会計を現学生自治会に統合したものです。

支出の部

【執行費】

学生自治会行事主催費	学生自治会が主催する行事の費用です。この1年間では支出しませんでした。なお、学生自治会が開催する自治委員会総会にかかる費用はこちらには含みません。
クラスオリエンテーション費	2013年度の入学者に対して行ったクラスオリエンテーションにかかった費用です。今年度は昼を挟んだため、パンとジュースの配布を行いました。

【援助金】

各団体への援助金です。この援助金は「援助を必要としている団体の活動が、学生生活を豊かにするものである。そして、その団体の会計が適切に行われている」と学生自治会が判断した団体へのみに行っていきます。昨年度の援助は第64回白鷺祭実行委員会・第51回友好祭実行委員会・第39回七夕祭実行委員会・白鷺祭企画共同体S.T.A.F.-1・文化部連合・第31回全学新歓実行委員会の6団体と、獣医学科縦割りコンパに対して行いました。

【書記局費】

事務経費	学生自治会の活動において、事務用品の購入費です。
OA機器諸経費	プリンターのインクや、パソコンのセキュリティソフトなど、学生自治会が所有しているパソコン周辺機器等に使われる費用です。
印刷用紙	学生自治会が発行する冊子などに必要な印刷用紙にかかる費用です。
印刷機購入費	印刷機の購入にかかった費用です。
コピー・印刷機等維持費	学生自治室においているコピー機および印刷機のトナー・マスターなどの購入費や維持費です。
書籍購入費	学生自治会の情報収集のための書籍の購入にかかる費用です。昨年度は書籍を購入しませんでしたので、書籍購入費の執行はありませんでした。
通信費	学生自治会が情報収集するためのインターネットの接続料金や電話料金です。
研修費	りんくうキャンパスでの活動や、その他、入学式のときなど自治会活動に必要な交通費です。

【部局活動費】

立て看板管理局費	大学祭時の立て看板周りに設置する進入禁止のテープなど、立て看板の管理に関する費用です。
----------	---

【積立金】

大型PA再購入実行委員会積立金	大型PA再購入実行委員会が行っている大型PAを再購入するための積立てにおける学生自治会の負担分です。
ステージ管理委員会積立金	ステージ管理委員会が行っているステージを再購入するための積立てにおける学生自治会の負担分です。また、ステージ管理委員会積立金には、ステージの管理費も含まれています。
次期コピー機・印刷機購入費積立金	学生自治会室に置いているコピー機および印刷機を再購入するために、学生自治会で積み立てている費用です。
OA機器購入費積立金	学生自治会室に置いているパソコン・プリンターなどを再購入するために、学生自治会で積み立てている費用です。

2013年度予算

以下では、学生自治会の2013年度予算について、会計項目とその説明を掲載しています。なお、こちらでも決算と同様に具体的な金額は伏せさせていただきます。

収入の部

OA機器購入費以外の項目、自治会費、利息収入印刷収入、繰越金についての説明は決算と同じなため、省略します。



OA機器購入費	今年度、プリンターの買い替えを予定していますので、OA機器購入費積立金より出される費用です。
---------	--

支出の部

【執行費】

クラスオリエンテーション費に関しては、決算と同じですので省略します。今年度の学生自治会行事主催費に関しては、例年執行されていないことから、予算を組みませんでした。

【援助金】

今年度の援助は、第65回白鷺祭実行委員会・第52回友好祭実行委員会・第40回七夕祭実行委員会・白鷺祭企画共同体S.T.A.F.-1・文化部連合・第32回全学新歓実行委員会の6団体に行う予定です。援助を決定する条件は決算の項目に記載しています。

【書記局費】

事務局費、OA機器諸経費、印刷用紙、コピー・印刷機等維持費、通信費、研修費に関しては、決算の項目と同じであるため省略します。

OA機器購入費	学生自治会が所有するプリンターの購入にかかる費用です。
書籍購入費	決算と同じですが、昨年度執行しなかったことから、予算を少なく見積もっています。

【部局管理費】

立て看板管理局費	決算と同じですが、今年は立て看板の点検を行うため、予算を多く見積もっています。
----------	---

【積立金】

決算と同じですので省略します。

何かご不明な点や疑問点をお持ちの方は、学生自治会室に来ていただければ、担当者が資料をお見せしながら説明します。



要望書回答

要望書とは、学生の大学に対する要望の実現を目指すために、例年、学生自治会が作成し、大学に提出しているものです。昨年度も、要望書を作成し、1月に大学に提出しました。そして、大学からこの要望書への回答を5月30日に受け取りました。ここでは、大学からの回答を掲載します。



I 学費に関する要望



要望1 学費を増額しないこと

平成25年度については、授業料を改定する予定はありません。

要望2 授業料減免制度の選抜基準を改正すること

平成25年度から成績基準を緩和し、成績上位1/2以上～1/3未満を現行の所得要件(所得認定額が最低生活費以下)を満たす学生には、授業料半額免除とするとする制度改正を行いました。(補足:成績上位1/3以上の学生についてはこれまで通り、それぞれの所得要件を満たす場合に授業料全額、半額免除を申請できます)



II 講義・履修に関する要望



要望3 CAP制を改正すること

平成24年度から学域移行に伴う教育体制を整備する中でCAP制について十分検討した結果、学生の学びの質を保證する上で重要であると現行制度が設けられたものでご理解願います。

要望4 成績開示の時期を早めること

成績開示の日程につきまして、今年度の状況を踏まえ1次後期教養抽選申請締切前日を予定しています。また、抽選申請について今年度同様2次抽選の実施を予定し、教養科目の受講機会の拡大を図っています。



Ⅲ 施設・設備に関する要望



要望5 図書館の開館時間を延長すること

平成23年度の図書館の平均入館者は月～金1019人、土・日326人となっています。図書館の休日(土・日)開館時間を延長した場合は、運営のための人件費のほかに、光熱水費は膨大なコストになります。また、近年、省エネルギーの取組みも行っていますので、図書館の開館延長が望ましいのか、自主学习スペースの利用環境整備が必要か、利用目的に合わせたニーズをお聞かせいただいた上で検討していきたいと思います。

要望6 障がい学生支援センターへの経路を整備すること

ご不便をお掛けしていましたが、シュライクから学生会館に至る通路にある4箇所ドアと、障がい学生支援室など3室のドア、計7箇所のドアを平成25年度3月までに引き戸方式に改修しました。併せて出入口の段差も解消しました。



Ⅳ りんくうキャンパスに関する要望



要望7 日曜日に平日と同様に図書室のサービスを実施すること

前期試験期間中の日曜日の入室者数を調査いたしましたが、試験直前の日曜日で10名、試験期間中の日曜日で20名程度でした。また、平日と同様に利用できる土曜日につきましても、利用者数は0名から一桁の利用者数でした。

平日と同様に利用申請なしで利用可とした場合でも、それ程の利用者数が見込めるとは考えられず、光熱費の削減のためにも、日曜日はこれまでどおりの取扱いとさせていただきます。

要望8 駐輪スペースを拡充すること

りんくうキャンパス開講当時83台だった駐輪場を平成22年3月に121台増設をし、現在204台の駐輪場を確保しています。学生数からみましても、駐輪場の台数は充分確保できている状況だと考えております。また、授業が始まる直前の時間帯でも駐輪場が混雑して駐輪するのが困難といった状況は見受けられないように思います。

従いまして、現在のところ駐輪スペースを拡充する予定はありません。

2013年度前期自治委員会総会での意見・質問に対する回答

先日の2013年度前期自治委員会総会では、参加者のみなさんから多くの意見や質問をいただきました。ここでは、感想文用紙に寄せられた意見・質問に対する学生自治会の回答を掲載しています。



◆決議案に対する意見・質問とその回答◆

質問文
『府大と市大の統合に関してのアンケート』はどのような学生に対して実施したのか？
回答文
現在『府大と市大の統合に関してのアンケート』は学生の府大と市大の統合に対する興味関心を調査することを目的に中百舌鳥キャンパス・りんくうキャンパスで活動する学生を対象に実施中です。
質問文
応用生命科学類1回生が必修科目を1つでも落としたり、留年が決定する制度について、2012年の自治総会にて確認しておきますという返事でしたが、結局どうなったのでしょうか？
回答文
前川高等教育機構長と話し合いを行った結果、課程配属の要件を満たさずに進級した学生については、現在は各課程における実験を履修することが出来ず、時間割の関係上4年次の進級要件を満たすことが出来ない件については、改善の検討を行うと回答を得られました。
質問文
P.3について「情報宣伝・情報収集に関する活動」、項目（1）の中で、「既存の情報宣伝手段の改善」とありますが、既存の情報宣伝手段のこういった点に問題意識をもたれ、改善に取り組もうと考えるに至ったか？
回答文
近年の要望書公開回答の参加者数の減少から、現在の情報宣伝手段では学生の興味関心を十分に得ることができていないと学生自治会は考えました。そこで、学生の興味関心を引くような形の情報宣伝手段の模索を行いました。具体的な方策を見出すことができませんでした。
質問文
府大、市大統合について、決まったことをもっと詳しく教えてほしいです。
回答文
現在、新大学構想会議にて新大学ビジョン(案)が策定され、8月に策定が予定されている新大学(案)に向けて府大と市大、並びに府市によって話し合いが進められています。新大学ビジョン(案)において、カリキュラムの全面見直しや教育支援体制の強化などが明言されています。新大学構想会議ウェブサイトなどをご覧になるとより詳しい情報を得られるかと思えます。
質問文
P.3について「学生生活に関わる情報」とありますが、具体的にどのような情報に対して学生生活に関わる情報と認識されているのか？
回答文
おもに、要望書に関してや駐輪場の移設などといった大学および学生自治会の活動内容に加えて、府大と市大の統合などに関する情報が、学生生活にかかわりのある情報であると考えます。

<p>質問文 統合後の学生団体の在り方がどうなるのか？</p>
<p>回答文 今後の府大と市大の統合についての動向を見ながら、検討を重ねていきます。</p>
<p>質問文 学団連の出席問題に対する回答が適当でない。活動状況の確認だけでなく、活動していても出席していない団体への処置を明言すべき</p>
<p>回答文 学生団体連絡会議(以下、学団連)とは各学生団体が協議し、共同で当たるべき問題に対処するための場であり、学生自治会は構成される一団体でしかありません。ですので、学団連に関する事柄は学生自治会の一存で決定することはできず、自治委員会総会の場において処置を明言することはできません。また、この問題に関しては学団連にて協議し、調整を行うよう考えております。</p>
<p>質問文 何故、七夕祭を有効なものであると考えたのですか？</p>
<p>回答文 七夕祭が学生と地域住民の交流を深め、また首都大戦のPRとなることで、首都大戦を盛り上げることで、学生生活を充実したものとすると考えました。</p>
<p>質問文 過度な新歓活動への対策が書面だけというのはどうなのでしょう？</p>
<p>回答文 混雑が予想される入学手続きやカリキュラムオリエンテーションの際は適宜役員による見回りおよび過度な勧誘活動を控えるよう注意喚起を行っていました。</p>
<p>質問文 今年第52回友好祭本祭典でフリーマーケットは中百舌鳥門側で開催されており、立て看板の付近で出展している出展者はいなかったように思うのですが、活動を行う必要があったのですか？</p>
<p>回答文 例年、白鷺祭本祭典や友好祭本祭典では、フリーマーケットに出展する参加者や来場者の親子連れなどが立て看板周辺に立ち入ることがあります。そのため、第52回友好祭本祭典ではフリーマーケットは中百舌鳥門側で開催されましたが、万全を期すため立て看板周辺に立ち入る可能性の高いフリーマーケット参加者への注意の呼びかけや、立て看板周辺の見回りを行いました。</p>

◆決算・予算案に対する意見・質問とその回答◆

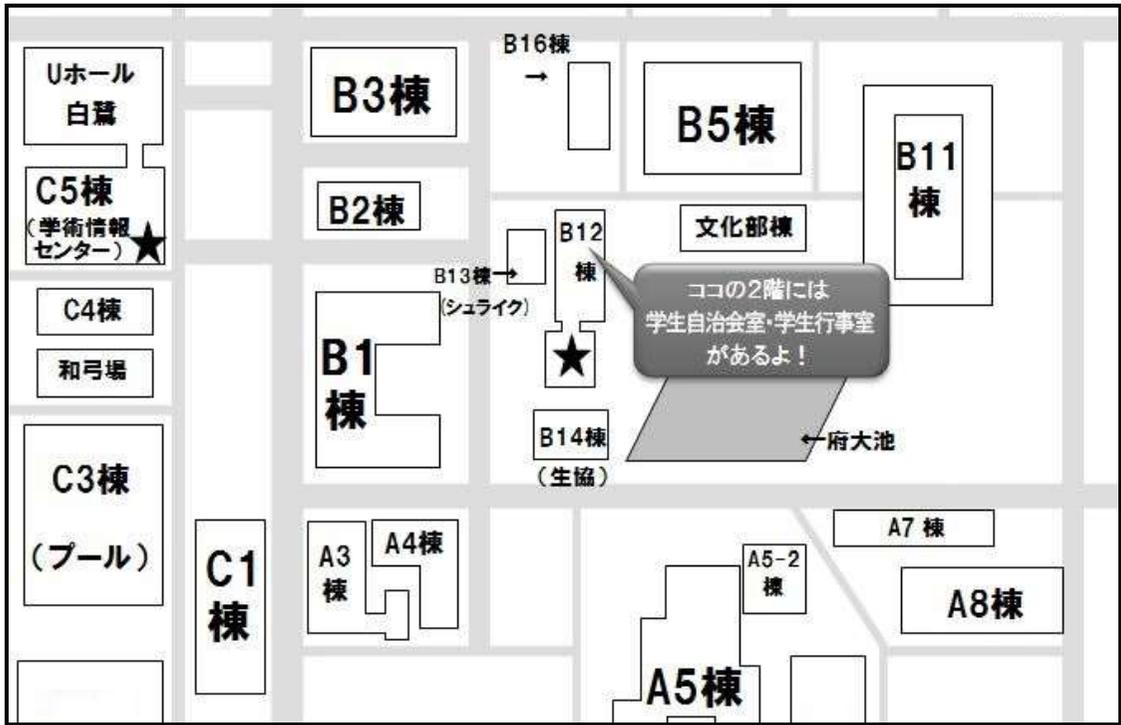
<p>質問文 立て看板の修理代はすべて自治会が出すのですか？</p>
<p>回答文 立て看板の修理費は基本的には学生自治会が出費します。</p>
<p>質問文 自治総会の経費はどこに計上されているのか</p>
<p>回答文 自治委員会総会を開くにあたり、それに掛かる費用のほとんどが配布する資料などの印刷用紙代です。その為、書記局費として計上させていただいています。</p>
<p>質問文 白鷺祭実行委員の予算はなぜ減ったのか</p>
<p>回答文 これは白鷺祭実行委員の会計担当から、今年度の予算案を提示してもらい、学生自治会からどれほど援助して欲しいのかを伺いました。その際、提示金額が昨年度よりも減っていたため、予算案では昨年度よりも減っています。</p>
<p>質問文 書記局の予算項目の「書籍」とありますが、予算を組むほど購入の検討が必要な本とはどのようなものなのか</p>
<p>回答文 「書籍」と書かれていますが、これには新聞・雑誌も含まれています。現在、新大学構想会議または新大学推進会議に関わるものならば、購入を考えています。</p>
<p>質問文 学生自治会の会計監査を学生自治会の方がやること自体、意味が分かりません。</p>
<p>回答文 会計監査委員に自治会役員が入る理由として、第一に日頃の自治会の会計の監視があります。会計監査委員はある一定の期間で会計監査を行うため、通常の会計を監視することが出来ません。その為、自治会役員を一人入れています。第二に会計監査委員の監視です。もし、会計監査委員が自治会役員以外の方のみで構成された場合、その方の独断で決定されてしまいます。会計監査で不正がないようにするため、自治会役員を一人入れています。</p>
<p>質問文 獣医縦コンについて、来期は出費しないということだが、では今期のコンパでは出費に相当する効果が得られなかったのか？得られなかったとすれば、その原因はどこにあるのか？</p>
<p>回答文 結果が得られなかったわけではありません。今年度の縦割りコンパについて援助の話を持ちかけましたが、担当者の方から辞退の申し出があったため、今年度は出費しませんでした。</p>
<p>質問文 立て看板の30000円はどうして使わなかったのか？また、今年度はどうしていくのか？</p>
<p>回答文 昨年度までは立て看板の故障はあまり報告されなかったが、4月に入って故障が相次ぎ、さらに5月には老朽化が指摘されました。しかし、修理が必要かの把握が5月中にできなかった為、支出は行われませんでした。今年度は7月に一斉点検を行い、修理が必要かどうかの把握を行い、必要であれば修理を行います。</p>

質問文 獣医の縦割りコンパにお金が出るなら他学部、他学域の仲を深めるためという理由でマネジ内や環シ ス内で縦割りコンパが行われるなら、もちろん援助金が発生するのですよね？
回答文 りんくうキャンパスでは、中百舌鳥キャンパスに比べ、クラブ・サークル活動が盛んでなく、友好祭・ 白鷺祭といった行事も多くはない。更に、学生自治会は中百舌鳥キャンパスに拠点をおいているため、 りんくうキャンパスでの活動が取りにくい状態である。そのため、獣医に既存している活動で、学生の 生活をよりよくするものはないかと考えた結果、獣医の縦割りコンパに援助することになりました。一 方、中百舌鳥キャンパスではクラブ・サークル活動が盛んで、大学祭もよく開催する。なので、特別中 百舌鳥キャンパスにおける縦割りコンパに援助する必要はないと考えています。
質問文 積立金について、他の団体が拠出できないからといって、自治会が出費する必要があるのか？
回答文 大型PAとステージの積立には、計画を立てており、それに遅れることはできないため、今回は学生自 治会が負担しました。

◆その他、総会全体を通しての意見・質問とその回答◆

質問文 飲食の食の禁止は理解できますが、飲の禁止は理解できません。理由の説明を求む
回答文 教室内の飲食は、昼休憩以外は原則禁止となっています。
質問文 休憩後の評議員がいる必要性があるのか？
回答文 所属・学年ごとの話し合いの結果がどのように採決へ反映されているかを確認していただくため、評議 員の方には採決の結果を見届けていただいております。

自治会室と意見箱の場所



★の場所に学生自治会が意見箱を設置しています。

2013年6月29日 初版 第1刷発行

発行所・印刷所

大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会
大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
B12棟(学生会館)2階 学生自治会室

連絡先

TEL :072-257-4301(内線2745)

FAX :072-257-4301

WEB :<http://zichikai.ehoh.net/>

e-mail :ziren@cd6.so-net.ne.jp

代表者 :溝口祐樹

乱丁・落丁はお取替えます。

お手数ですが、B12棟2階学生自治会室までお越しく下さい。